



「目で食べる料理」の数々は、

僕の記憶の隅にしまってたあつた

思い出を引っ張り出して、

“切なさ”という味に変える。

時にしんどくもなるが、

また本を開き、すっかり中毒に

なっている自分。

はあ……。なんだよ。

涙流れてるじゃん。



鈴木おさむ

推薦

『この味もまたいつか恋しくなる』 著・燃え殻 / 定価1870円(税込) / 主婦と生活社